



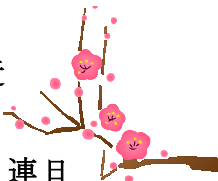
創造

第22号

2月15日発行

文責：吉海

寒風が吹く中、華やかに咲きほこる梅の花。今年も校門付近の紅梅が心を癒してくれます。



子どもたちも寒さに負けず、連日持久走に取り組みました。過日、その成果をはかる記録会を学年(級)別に行いました。従来のコースが被災して使用できなかったため、今回は、1周約140mの運動場を1年生は3周、2年生は5周、3・4年生は7周、5・6年生は10周走りました。白い吐息とともに、頬を真っ赤にしなが懸命に走る子どもたちの姿に胸が熱くなりました。参加した全員が完走。互いの健闘をたたえ合う姿も見られました。豪雨災害に負けなかった子どもたちの心の強さ、そしてやさしさをここでも痛感しました。

お父さんや妹と一緒に雪の日もジョギングをしていた4年生の生島優空君は、「これまで練習してきたので、3年生のときよりも順位がよかったです。5年生では、もっと速く走れるようにジョギングを続けていきます」と力強い言葉を残しました。

梅の花の花言葉は、「忍耐」です。記録と体力の向上のために、自分に負けず走りぬいた子どもたちと梅の花の凛とした姿が重なって見えた特別な今年の記録会でした。



奨励賞「みんなで釣りに行ったこと」

「家庭の日」あったか家族コンクール
奨励賞受賞！ 本校より3作品

5学年では、冬休みの課題として標記コンクール(主催:熊本県青少年育成県民会議他)の作品づくりに取り組み、すべて出品しました。甲乙つけがたい力作ばかりでした。

先日、審査結果が本校に届き、次の3作品が見事入賞しました。

○「絵につき」高学年部門(総数888作品)

奨励賞「みんなで釣りに行ったこと」

5年2組 田代紘嗣君 ご家族

家族全員が揃う月に一度の休日。みんなで魚釣りに行った様子を綴ってありました。釣れたときの喜びが絵からも伝わってきました。

○「フォトにつき」部門(総数1043作品)

奨励賞「弟の着替え」

5年1組 田口煌晏君 ご家族

弟の着替えを助けて手伝っている兄の様子。朝食の片づけ等で多忙なお母さんとかわいい弟へのやさしい思いが、そのままざしに表れていました。

奨励賞「今年最後のお手伝い」

5年2組 下本光来さん ご家族

彩りを工夫しながらおせち料理の盛り付けをしている親子の姿。とてもいい雰囲気でした。お父さん作のエビフライも美味しそうでした。



各担当者の思い



児童の実態に応じて学習活動や学校生活のサポートをしてくださっているのが4名の授業支援員の皆さんです。本校にとってなくてはならない存在です。

「ああ、わかった」「ここがわかりません」の子どもたちの多くの声が、私にやりがいと職責の重さを感じさせます。昨年4月から、高学年を中心に授業支援員として勤務させていただき、コロナ禍の中、マスク越しにしか子どもの表情を窺えなかったことが、とても残念でした。しかし、そんな中でも子どもたちから「学びに向かう力」(学びたい・わかりたい)への思いが伝わってきて、充実した毎日でした。今後、さらに担任の先生方との連携を図るとともに、子どもとの信頼関係を築きながら個性に応じた支援に努め、多くの“笑顔”と出会うことを日々の楽しみにしたいと思います。



5・6年担当 藤原 審二



なかよし担当 鬼塚 里美

佐敷小の子どもたちは、あいさつがとても上手です。「おはようございます」の明るく爽やかな声に、いつも元気をもらっています。主に、支援学級を中心にサポートしていますが、「今日はどんな表情を見せてくれるのかな」と、毎朝楽しみにしながら通勤しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に臨時休校に加え、熊本豪雨災害の影響で2回の校舎移転がありました。行動様式や学習環境が大きく変わったことで、子どもたちの心も不安定になり、見通しをもてない辛い日々が続いたことと思います。だからこそ、常に子どもの気持ちに寄り添いながら丁寧に支援していきたいと思っています。

支援員として本校8年目の勤務となります。行事なども例年通り行うことは難しい状況にあり、先が見えない日々の中でも、前向きに行動する子どもたちの姿に元気をもらい活力となっています。今年度は、3・4年生の算数を中心に学習支援をしています。中学年の算数は、これから学習する複雑な問題の基礎となるものばかりです。難易度も上がるため、子どもたちのノートや表情からのサインを見逃さないように心掛けています。わからない問題と一緒に取り組み「わかった!」「解けた!!」と表情が笑顔に変わるときが一番のやりがいを感じる瞬間です。これからも、担任の先生との連携を密にし、学習面だけではなく生活面でも、子どもたちの不安解消につながる支援を目指していきたいと思っています。



3・4年担当 才荷 浩美



1・2年担当 迫本 由美

佐敷小の子どもたちは、みんな素直で頑張り屋です。私の担当は低学年なので、他の学年と接することはあまりないのですが、1年生教室からは、体育で校庭を走る姿が見えます。どの学年も一生懸命走っているのですごいなあと感じます。1・2年生は、「先生、見て見て」「休み時間、一緒に遊ぼう」と毎日いろいろな話をしてくれたり、抱きついてきたりします。本当にとってもかわいくて、私がいつも元気をもらっています。そんな子どもたちも次第にお兄さん、お姉さんの顔になってきました。1年生は、一人でできることが増えました。2年生は、1年生にやさしくすることが増えました。みんなやる気に満ちあふれ学校生活を楽しんでいます。これからも、みんなの成長を見守りながら頑張ります。